

シンポジウム開催趣旨

コーディネーター 鳩貝太郎 (本研究会会長)

今回の研究大会はメインテーマを「学校飼育動物への関心を高め、理解を深めるために」として開催いたしました。

第一部の口頭発表は幼稚園、小学校での実践事例と農芸高校での高校生の取り組みの事例の紹介がありました。どの発表も素晴らしい事例であり全国各地で参考にさせていただきたい内容であったと思います。

第二部のシンポジウムでは、シンポジストとして文部科学省教育課程課の教科調査官で生活科を担当されている齋藤博伸先生、帝京科学大学アニマルサイエンス学科教授で動物園教育などを研究されている並木美砂子先生、大手前大学教授でひとと動物の絆の心理学などを研究されている中島由佳先生にご登壇いただくことにしました。

3人の先生方にはそれぞれの研究の現状やそれらの成果を基にメインテーマに関わる講演をお願いいたしました。各先生方の講演が済んだところで口頭発表者の皆さんにもシンポジウムに加わっていただき、3人のシンポジストのそれぞれの立場から今回の口頭発表の内容に関するご意見やご感想などをお聞きし、その後で皆さんで学校飼育動物への関心を高め理解を深めていくための方策などについて意見交換したいと考えます。後半では、学校や幼稚園での継続的な動物飼育や触れ合い体験活動の必要性や意義などについて整理し、学校や幼稚園などを取り巻く動物飼育の現状や課題を踏まえてこれからの動物飼育のあり方についての

提案ができるようにしたいと考えております。

限られた時間ではありますが学校や幼稚園などでの動物飼育を推進していく活力となるような内容の濃いシンポジウムになることを期待しております。

シンポジストの紹介

・齋藤博伸 先生

埼玉県内の公立小学校教諭，埼玉大学教育学部附属小学校教諭・主幹教諭・副校長，川越市教育委員会教育センター主幹を経て教諭，川越市教育委員会指導主事を経て，現在は文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官，国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官。

・並木美砂子 先生

千葉市動物公園で飼育員として子どもたちと動物との触れ合い活動などを行いながらお茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。博士（学術）。現在は帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 教授。

・中島由佳 先生

シカゴ大学大学院Humanities修士課程修了，お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。博士（人文科学）。内閣府日本学術会議上席学術調査員を経て，現在は大手前大学 現代社会学部 教授。